

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト脳及び疾患特異的 iPS 細胞/由来神経系細胞におけるエピジェネティクス/トランスクリプトーム/タンパク質解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	研究対象者：新潟大学脳研究所病理学分野における病理組織学的検索によりヘルペス脳炎と診断がなされた患者さん、もしくは脳に異常はありませんと診断された患者さんで、計10名程度です。 したがって、下記の期間に本研究の対象となる患者さんのご遺族で、死体解剖保存法に則った病理解剖時に、診断を確定するとともに病気解明のための医学研究を行うことを説明され、文章で同意いただいている方が本研究の対象です。 対象期間：2005年1月1日から現在まで
③概要	中枢神経系組織において、単純ヘルペスウイルスが引き起こすヘルペス脳炎は、高い致死率と深刻な後遺症を引き起こす病気です。脳内に侵入した単純ヘルペスウイルスはヒトの免疫を克服することで、ヘルペス脳炎を引き起こすと考えられています。その回避機構の実態を解明することを目的として、これまでに細胞を用いた実験系で得られた知見がヒト脳でも同様に観察できるか確かめるため、解剖時に同意いただき取得した試料・情報を追加で解析します。
④申請番号	2024-0068
⑤研究の目的・意義	単純ヘルペスウイルスはヒトの免疫を回避しヘルペス脳炎を引き起こすと考えられています。その回避機構は不明です。そのため本研究では、単純ヘルペスウイルスがヒトの脳内でどのように免疫を回避するかを明らかにすることを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から西暦 2029 年 03 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学脳研究所病理学分野のスタッフにより、病理解剖にて採取した脳組織（凍結保存脳組織、並びにホルマリン固定後パラフィン包埋組織の未染色標本）および付随する患者さんの情報（年齢、性別、疾患名・罹病期間）を共同研究先に提供します。 新潟大学脳研究所から共同研究先に試料を送る際には特定の個人を特定することができないように匿名加工をした状態で提供し、対応表は提供しません。共同研究を行っている慶應義塾大学再生医療リサーチセンター、並びに東京大学医科学研究所において PCR とウェスタンブロッティングという手法を用いて遺伝子とタンパク質の発現解析を行います。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、疾患名・罹病期間
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学脳研究所病理学分野 柿田 明美 新潟大学脳研究所病理学分野 濱崎 英臣

	共同研究機関： 慶應義塾大学再生医療リサーチセンター 森本 悟 慶應義塾大学再生医療リサーチセンター 岡野 栄之 東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス病態制御分野 川口 寧 東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス病態制御分野 加藤 哲久
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田 明美
⑪ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学脳研究所病理学分野 氏名：柿田 明美 Tel：025-227-0633 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp